

昨年の北上ふるさと会の集い

「第25回北上ふるさと会集いの会」は、昨年11月11日（土）に、湯島のガーデンパレスにて盛大に開催されました。

北上市からは高橋市長はじめ市の関係者方々、また在京の来賓、多くの会員にもご出席頂き、総勢146名の参加者は、出身地区ごとの円卓で交流を深め、

昔語りや鬼剣舞、北上の岩崎地区青年会のアトラクション、抽選会などを楽しみました。最後は「北上夜曲」「そんな街、北上」の合唱と、岩崎地区青年会のリードで「北上おでんせ」を輪になって踊り、閉会しました。今年も、11月10日の開催です。是非ご参集下さい。



高橋市議会議長の首頭で乾杯



岩崎地区青年会 虹色の会の皆さん

在京北上産業人会

今年の講演会・情報交換会を6月25日に開催した。講演会は（一社）北上観光コンベンション協会の登内芳也氏をお迎えし「よそ者から見た北上」という講演をいただいた。北上で生まれ育った人には魅力と感じていないことでも、よそから来た人には魅力的なことがあるとして、白鳥や北上翔南高校鬼剣舞の練習などの具体的な例を挙げて北上の良さを紹介され、その良さを北上の産業振興に役立てていきたいという話には共感するものがあった。

また、会員会社の会社紹介では会社の概要や、会社運営の考え方など内幕の話なども含め、普段話にならないことなども聞いて良かった。お互いを理解するうえでも、会社紹介は大切であり、充実していきたい。今回の参加者は40名弱で、北上市からは北上青年会議所の高橋理事長、伊藤地域活性化委員長にも参加していただき北上市との連携を深めていくことを確認した。参加者の中には北上での起業を目指している若手の女性や、高校卒業以来の8年ぶりの予期せぬ再会などもあり、盛り上がりがあった会となった。

北上大学は、3月に宇宙研究開発機構（JAXA）から北上出身の小原新吾氏を招いて「みんなで宇宙の話しよう」というテーマでセミナーを開催した。人工衛星や打ち上げロケットの基礎的な話から、宇宙開発の現状、さらには宇宙ビジネスの可能性までの幅広い内容でなかなか興味深いものであった。今後同様なセミナーを開催するとともに、会員を講師にしたワークショップ、異業種交流会などを予定していきたい。産業人会、北上大学とも会員の皆さんに、交流の場の提供、北上市に関する情報の提供を心掛けていきます。皆さんがますます積極的にこの場に参加していた



産業人会



北上大学

大江戸探索会

私は、東京に住んで早や五十年越えました。探索会との出会いは、高校のクラスメートの一人がパソコンで知ったのがきっかけでした。その後、クラスの仲間と声をかけ、5〜6人で参加するようになってから5年経ちました。

東京都心の歴史的なことは、聞いても頭の中だけ。説明を聞きながら、実際の場所を見て廻って、初めて感動することばかりで楽しくなります。案内人は、原則として北上出身の仲間、資料を頂き説明を聞きながら、歩くこと一万二〜三千歩。（我ながら感心！）



第77回（市川市）の案内人は小原寛さん

気軽な話し合い。飲んだり食べたりして解散。疲れが吹っ飛びます。健康的（歩く）脳の刺激（話す、知恵）長生きの秘訣になります。年会費制で登録はしていますが、事前の参加申し込みは必要



同上参加者の皆さん

なして、当日直接現地の駅改札口に集合し、解散します。一度試しに参加したら、また行きたくなると思います。ぜひ、お友達と一緒に、あるいは一人ででも、探索会にいらして下さいますよう、お待ちしております。（櫻井英子）

現行役員紹介

北上ふるさと会

（平成29年総会から2年間）

- 名譽会長 折笠英夫
- 会長 渡邊嘉二郎
- 副会長 菅野建弘・菅原清徳・中野盛
- 幹事長 小原磯則
- 幹事長代理 藤原祥哲・加藤ゆりいか

幹事

- 阿部久人・小原寛・小原正彦・菊池潤・菊池裕・熊谷忍・小菅寿彦・庄司大人・千田正雄・南川昌光・八重樫昌志
- 監事 千田納・八重樫清美

在京北上産業人会

- リーダー 中野盛
- 事務局 小原磯則

北上大学

- 学長 渡邊嘉二郎
- 事務局 庄司大人

ふるさと北上民話研究会

- 会長 蘭牧枝
- 事務局 及川功
- 会長 菊池威
- 事務局 蘭牧枝

ふるさと北上民話研究会

この会は、えなだりの話し言葉即ち「えなだり語」の復活、再生、再発見を楽しみに「昔話を語る」という集りです。語り伝えられてきた昔話は「えなだり語」の活用には最適だからです。『日本語はなぜ美しいのか』（黒川伊保子）という本に、「日本語をないがしろにすることは日本を失うことだ」とありました。カタカナ語が氾濫する昨今、私にとって衝撃的な感動の一文でした。警えれば「えなだり語をないがしろにすることは、えなだりというふるさとを失うこと」につながると思つたからです。えなだり語はふるさととの暮らしを背景に、幾百年もの時間と人の連鎖を経て形成成熟された歴史と文化を伝えるものだと思つています。えなだり語の中には、アイヌ語はもとより平安や鎌倉の世に使われていた言葉がしっかりと残っているそうです。しかし話し言葉なので小学生がスマホを操り使い放題の「豊かな国」となった今、暮らし方の激変による言葉の変わりようは、やがてえなだり語も世代交代とともに消えてゆくものと思わざるを得ません。もう既

に全国共通の言葉でしか語れない「日本人」ばかりになって、日本人である以前にえなだり語を「までい」して語る「えなだり人」は誠にもって稀少な人珍人、となったのです。以上は「私見」ですが、これまで「みすとかがって（頑張つて）稼いで」きて紳士淑女となつた皆さん、その昔青つ涙を垂らし、えなだり語を喚きながら走り回っていた頃を思い出して、もういちど「えなだり人」の仲間に入ってみませんか。ふるさとには「えなだり語」の中にあるのです。（事務局・及川功）



観光物産展（いわて銀河プラザ）での昔語り

「きたかみ@」始めました♪

北上市民はもちろん、北上市にゆかりのある方にも嬉しいお役立ち情報や、ふるさと納税の最新ニュースなどLINEで届きます！
右記QRコードから、無料登録をお願いします！

